

業 務 名 : 環境保全連携施策整理検討外業務
特定企業名 : パシフィックコンサルタンツ株式会社北海道支社
住 所 : 札幌市北区北7条西1丁目2番地6
代表者 : 支社長 篠崎 毅
決 定 日 : 令和7年3月24日

評価項目	評価の着目点			配点	企画提案者	
					パシフィックコンサルタンツ株式会社北海道支社	
業務実績	過去10年間の同種又は類似業務の実績の内容・件数			企業の同種又は類似業務の実績は、企画競争参加資格の要件を確認するために用いるため、これらを満たさない者の企画提案書の特定は行わない。	数値化しない	要件を満たしている
ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標の適合状況	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等(えるぼし・プラチナえるぼし認定企業、一般事業主行動計画策定企業)			「プラチナえるぼしの認定」、「えるぼし1～3段階目の認定」(いずれの段階においても「評価項目3:労働時間等の働き方」の基準を満たしていることが必要。)を取得している場合及び一般事業主行動計画(計画期間が満了していないものに限る。)を策定・届出(常時雇用する労働者の数が100人以下の企業に限る。)をしている場合には優位に評価する。 ① プラチナえるぼし ② えるぼし(3段階目) ③ えるぼし(2段階目) ④ えるぼし(1段階目) ⑤ 一般事業主行動計画	① 5 ② 4 ③ 3 ④ 2 ⑤ 1	5
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん・プラチナくるみん・トライくるみん認定企業)			「くるみん認定」(平成29年3月31日までの基準、平成29年4月1日から令和4年3月31日までの基準又は令和4年4月1日以降の基準)、「プラチナくるみん認定」又は「トライくるみん認定」を取得している場合には優位に評価する。 ① プラチナくるみん認定 ② くるみん認定(令和4年4月1日以降の基準) ③ くるみん認定(平成29年4月1日から令和4年3月31日までの基準) ④ トライくるみん認定 ⑤ くるみん認定(平成29年3月31日までの基準)	① 5 ② 3 ③ 3 ④ 3 ⑤ 2	
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定(ユースエール認定企業)			「ユースエール認定」を取得している場合には優位に評価する。	4	
	【※複数の認定等に該当する場合には、最も配点が高い区分により加点を行う。】					
業務実施体制	業務分担及び業務実施体制の妥当性			業務実施に必要な分担が的確に記載されている場合、優位に評価する。なお、下記に該当する場合は特定しない。 ① 業務の分担構成が不明確又は不自然な場合。 ② 再委託の内容が主たる部分の場合、再委託の理由が記載されていない場合又は不明確な場合。 ③ 記載がない場合。	10	10
予定管理技術者の経験及び能力	専門技術力	業務執行技術力	過去10年間の同種又は類似業務の実績の内容	下記の順位で評価する。 ① 平成27年度以降に同種業務の実績がある。 ② 平成27年度以降に類似業務の実績がある。 ③ ①②以外	① 10 ② 5 ③ 特定しない	10
予定担当技術者の経験及び能力	専門技術力	業務執行技術力	過去10年間の同種又は類似業務の実績の内容	下記の順位で評価する。 ① 平成27年度以降に同種業務の実績がある。 ② 平成27年度以降に類似業務の実績がある。 ③ ①②以外	① 5 ② 2 ③ 特定しない	5
実施方針・実施フロー・工程表	業務理解度			目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	15	10
	実施手順			業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	15	9
特定テーマに対する企画提案	的確性			着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するに当たって有効性が高い場合に優位に評価する。	15	9
特定テーマ「特記仕様書第3条3.(2)のグリーンインフラ意見交換会を運営する上での留意点」	実現性			提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	15	8
参考見積	業務コストの妥当性			提示した業務規模を上回るか、又は提案内容に対して見積が不適切な場合には特定しない。	数値化しない	適切である
合 計					90	66